

令和7年度第3回市政モニターアンケート結果

テーマ 「市民協働のまちづくりについて」

- (1) 目的 相模原市では、令和2年3月に「第2次相模原市市民協働推進基本計画」を策定し、令和9年度までの8年間を計画期間として、前計画を引継ぎ、協働に対する理解や認識を「皆で担う」を目指すため、6つの基本施策を展開してきました。本調査は、市民の日頃の活動や協働のまちづくりに対する意識をお伺いし、令和10年度を初年度とする次期計画策定の参考とさせていただくため、実施したものです。
- (2) 回答者数 164人
- (3) 調査期間 令和7年12月12日（金）から令和8年1月9日（金）まで
- (4) 結果要約 本調査結果からは、地域活動や市民活動への関心が比較的高い一方で、実際の参加状況には差が見られます。特に、市民活動への参加割合は地域活動に比べて低く、関心が必ずしも行動につながっていない状況がうかがえます。参加理由としては、関心や地域改善に貢献したいという意識が強く、金銭的な理由は少数派であることが分かりました。また、参加しない理由としては「情報不足」や「時間的制約」が多く、参加のハードルは意欲の欠如というよりも環境要因にあることが読み取れます。自治会加入促進においては「加入メリットの充実」が最も多く挙げられており、活動の意義の周知に加え、具体的な利点の提示が重要と考えられます。市職員には地域住民として主体的に関わる姿勢と、実情を理解した上での柔軟な支援が期待されています。今後の方向性として、①情報発信の工夫、②参加しやすい仕組みづくり、③多様な担い手の確保、④つながりを生む支援体制の構築が、地域活動の活性化に向けて重要であると考えられます。

※表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

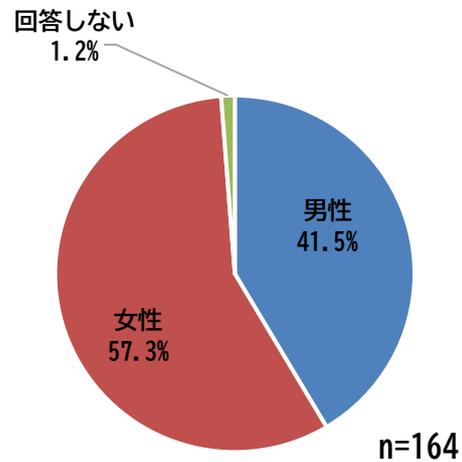
調査結果

【基本的項目について】

【問1】あなたの性別をお伺いします。(回答は1つ)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

選択肢	回答数	回答分布
1 男性	68	41.5%
2 女性	94	57.3%
3 回答しない	2	1.2%
合計	164	100.0%

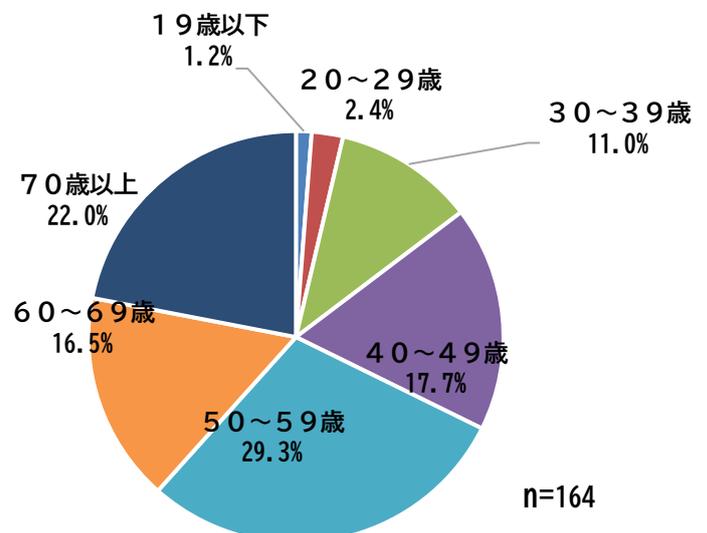


☆ 回答された方の性別は以上のとおりです。

【問2】あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

1 19歳以下	4 40～49歳	7 70歳以上
2 20～29歳	5 50～59歳	
3 30～39歳	6 60～69歳	

選択肢	回答数	回答分布
1 19歳以下	2	1.2%
2 20～29歳	4	2.4%
3 30～39歳	18	11.0%
4 40～49歳	29	17.7%
5 50～59歳	48	29.3%
6 60～69歳	27	16.5%
7 70歳以上	36	22.0%
合計	164	100.0%

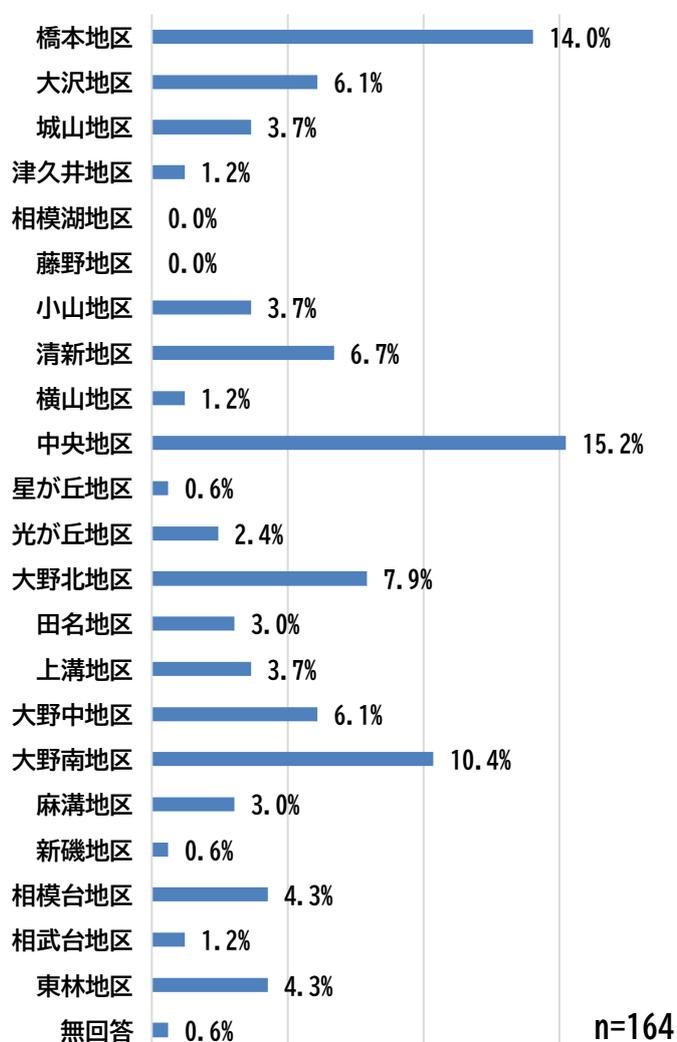


☆ 回答された方の年齢層は以上のとおりです。

【問3】あなたのお住まいの地区をお伺いします。(回答は1つ)

緑区	中央区	南区
1 橋本地区	7 小山地区	16 大野中地区
2 大沢地区	8 清新地区	17 大野南地区
3 城山地区	9 横山地区	18 麻溝地区
4 津久井地区	10 中央地区	19 新磯地区
5 相模湖地区	11 星が丘地区	20 相模台地区
6 藤野地区	12 光が丘地区	21 相武台地区
	13 大野北地区	22 東林地区
	14 田名地区	
	15 上溝地区	

選択肢	回答数	回答分布
1 橋本地区	23	14.0%
2 大沢地区	10	6.1%
3 城山地区	6	3.7%
4 津久井地区	2	1.2%
5 相模湖地区	0	0.0%
6 藤野地区	0	0.0%
7 小山地区	6	3.7%
8 清新地区	11	6.7%
9 横山地区	2	1.2%
10 中央地区	25	15.2%
11 星が丘地区	1	0.6%
12 光が丘地区	4	2.4%
13 大野北地区	13	7.9%
14 田名地区	5	3.0%
15 上溝地区	6	3.7%
16 大野中地区	10	6.1%
17 大野南地区	17	10.4%
18 麻溝地区	5	3.0%
19 新磯地区	1	0.6%
20 相模台地区	7	4.3%
21 相武台地区	2	1.2%
22 東林地区	7	4.3%
無回答	1	0.6%
合計	164	100.0%

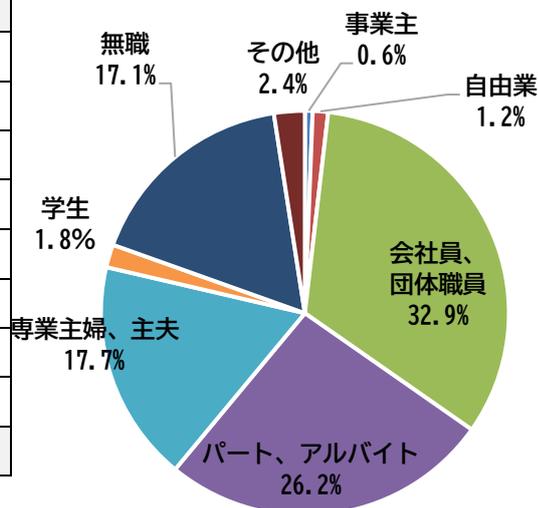


☆ 回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

【問4】あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

1 事業主	5 専業主婦、主夫
2 自由業	6 学生
3 会社員、団体職員	7 無職
4 パート、アルバイト	8 その他(具体的に：)

選択肢	回答数	回答分布
1 事業主	1	0.6%
2 自由業	2	1.2%
3 会社員、団体職員	54	32.9%
4 パート、アルバイト	43	26.2%
5 専業主婦、主夫	29	17.7%
6 学生	3	1.8%
7 無職	28	17.1%
8 その他	4	2.4%
合計	164	100.0%



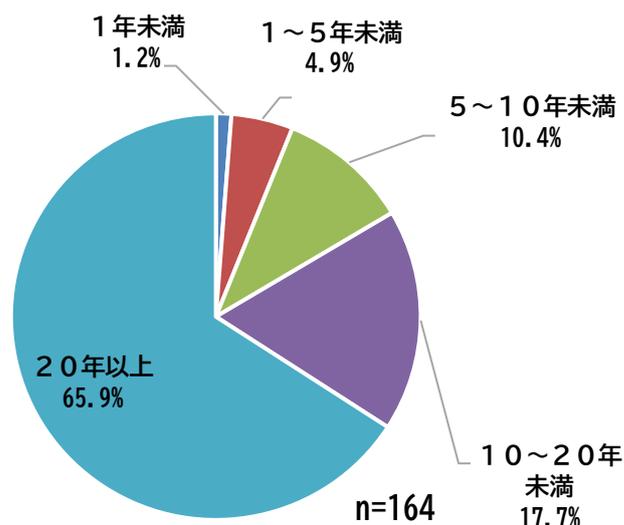
☆ 回答された方の職業は以上のとおりです。

n=164

【問5】あなたは相模原市に住んで何年になりますか。(回答は1つ)

1 1年未満	4 10～20年未満
2 1～5年未満	5 20年以上
3 5～10年未満	

選択肢	回答数	回答分布
1 1年未満	2	1.2%
2 1～5年未満	8	4.9%
3 5～10年未満	17	10.4%
4 10～20年未満	29	17.7%
5 20年以上	108	65.9%
合計	164	100.0%



☆ 回答された方の居住年数は以上のとおりです。

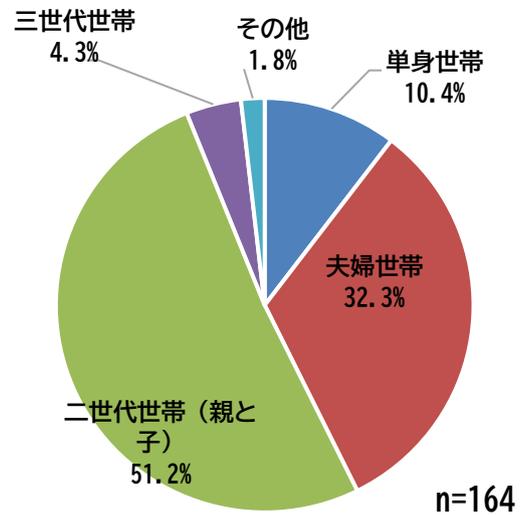
n=164

【問6】あなたの家族構成をお伺いします。(回答は1つ)

1 単身世帯	4 三世代世帯
2 夫婦世帯	5 その他
3 二世世代世帯 (親と子)	

選択肢	回答数	回答分布
1 単身世帯	17	10.4%
2 夫婦世帯	53	32.3%
3 二世世代世帯 (親と子)	84	51.2%
4 三世代世帯	7	4.3%
5 その他	3	1.8%
合計	164	100.0%

☆ 回答された方の家族構成は以上のとおりです。

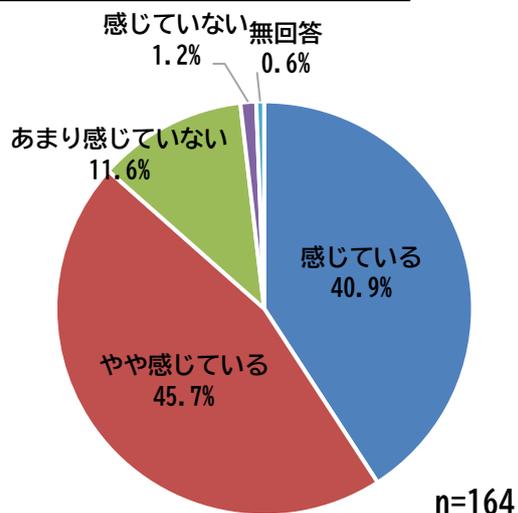


【シビックプライド（地域への愛着や親しみ）について】

【問7】 あなたはお住まいの地域に愛着や親しみを感じていますか。（回答は1つ）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 感じている（⇒問7-1へ） | 3 あまり感じていない（⇒問7-2へ） |
| 2 やや感じている（⇒問7-1へ） | 4 感じていない（⇒問7-2へ） |

選択肢	回答数	回答分布
1 感じている	67	40.9%
2 やや感じている	75	45.7%
3 あまり感じていない	19	11.6%
4 感じていない	2	1.2%
無回答	1	0.6%
合計	164	100.0%



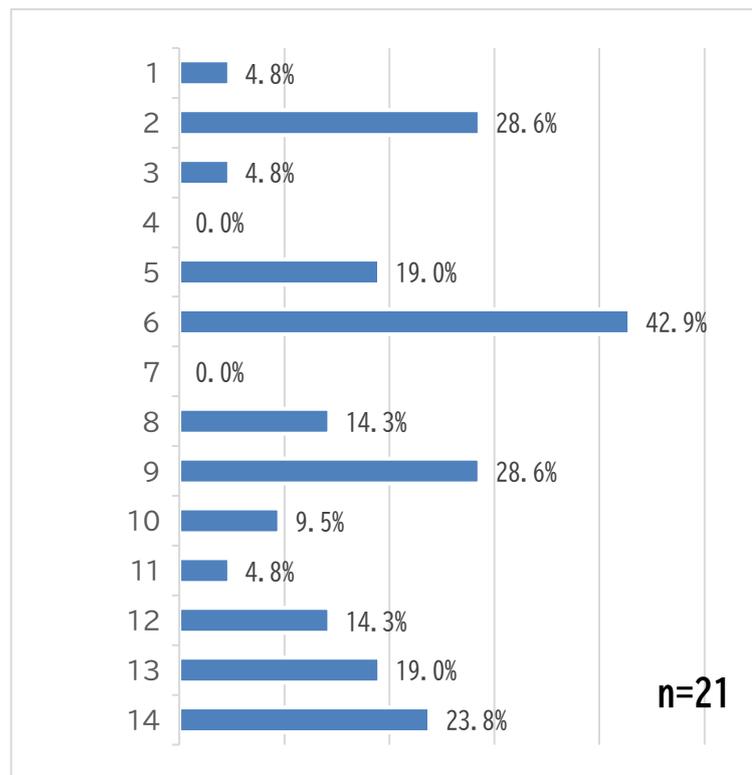
☆ 「感じている」「やや感じている」を合わせると約9割を占めており、多くの市民が地域に一定の愛着を持っていることがうかがえます。一方で、愛着をあまり感じていない層も存在しており、地域との関わりを深める取り組みが引き続き重要と考えられます。

《問7で、「3 あまり感じていない」又は「4 感じていない」とお答えの方へ》

【問7-2】愛着や親しみを感じていない理由は何ですか。(回答は3つまで)

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1 最近住み始めたから | 8 地域の歴史や名所に誇りを持ってないから |
| 2 親戚や友人が近くにいないから | 9 地域の活動があまり盛んでなく、活気がないから |
| 3 近隣の人間関係が良好でないから | 10 楽しみにしている地域の祭りや行事がないから |
| 4 自然環境が良くないから | 11 気に入っている公園、広場、運動施設、緑地等がないから |
| 5 街並みが気に入っていないから | 12 気に入っている図書館やホール等の文化施設がないから |
| 6 交通の利便性が良くないから | 13 気に入っているお店がないから |
| 7 治安があまり良くないなど、安心して暮らせないから | 14 その他（具体的に：) |

選択肢	回答数	回答分布
1	1	4.8%
2	6	28.6%
3	1	4.8%
4	0	0.0%
5	4	19.0%
6	9	42.9%
7	0	0.0%
8	3	14.3%
9	6	28.6%
10	2	9.5%
11	1	4.8%
12	3	14.3%
13	4	19.0%
14	5	23.8%



その他のコメント

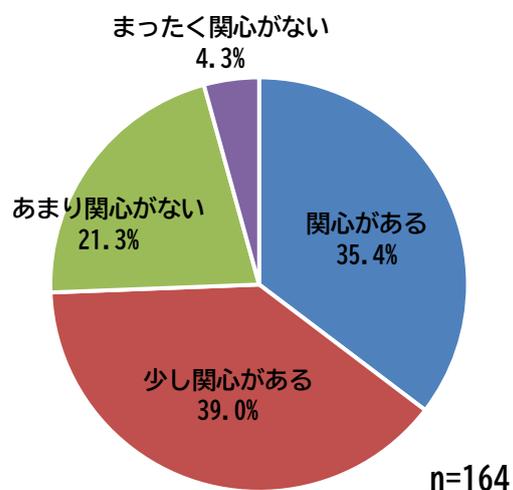
- ・近くの公園が芝生でないから
- ・特に無い
- ・まだ10年くらいしか住んでいないので、良し悪しがまだ分からない
- ・隣接する大和市の施策や施設の方が優れており愛着がわくから
- ・普通に生活しているだけで、「愛着」とか「親しみ」という感覚が持てないから。

☆ お住まいの地域に愛着や親しみを感ぜない理由として最も多かったのは「交通の利便性が良くないから」であり、市内において交通環境に地域差があることが読み取れます。

【問8】あなたは、自治会や子ども会、PTA、消防団、自主防災組織などの地域活動や、環境、教育、福祉などの市民活動（NPO・ボランティア活動）などに関心がありますか。(回答は1つ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 関心がある | 3 あまり関心がない |
| 2 少し関心がある | 4 まったく関心がない |

選択肢	回答数	回答分布
1 関心がある	58	35.4 %
2 少し関心がある	64	39.0 %
3 あまり関心がない	35	21.3 %
4 まったく関心がない	7	4.3 %
合計	164	100.0 %

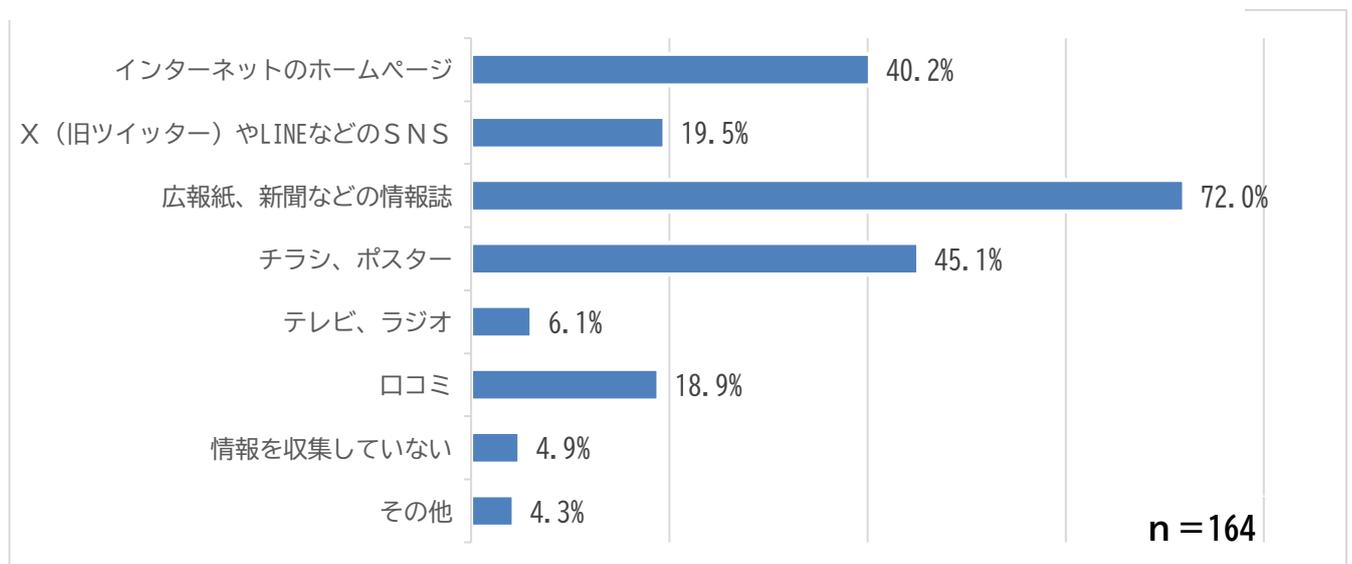


☆ 「関心がある」「少し関心がある」を合わせると約7割を占めており、多くの市民が地域活動や市民活動に一定の関心を持っていることがうかがえます。一方で、約4分の1は関心が低い層も存在しており、関心を行動につなげる工夫が求められます。

【問9】あなたは、地域活動や市民活動などに関する情報を、主にどんな方法で得ていますか。(回答は3つまで)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1 インターネットのホームページ | 5 テレビ、ラジオ |
| 2 X (旧ツイッター) やLINEなどのSNS | 6 口コミ |
| 3 広報紙、新聞などの情報誌 | 7 情報を収集していない |
| 4 チラシ、ポスター | 8 その他 (具体的に:) |

選択肢	回答数	回答分布
1 インターネットのホームページ	66	40.2%
2 X (旧ツイッター) やLINEなどのSNS	32	19.5%
3 広報紙、新聞などの情報誌	118	72.0%
4 チラシ、ポスター	74	45.1%
5 テレビ、ラジオ	10	6.1%
6 口コミ	31	18.9%
7 情報を収集していない	8	4.9%
8 その他	7	4.3%



- その他 内訳
- ・ 公民館報、自治会の回覧板
 - ・ 学校で所属している部活で教えてもらう
 - ・ 回覧(回覧板)
 - ・ 町中の掲示板
 - ・ 公園等の掲示板
 - ・ 近所にある掲示板

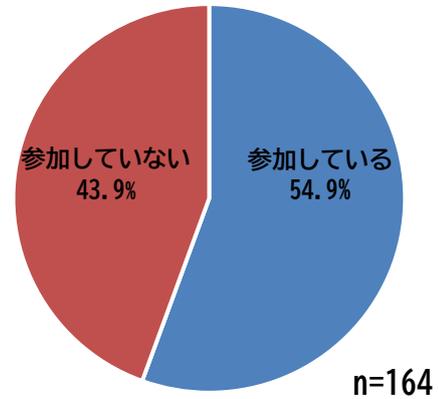
☆ 地域活動や市民活動に関する情報の入手方法としては、「広報紙、新聞などの情報誌」、「チラシ、ポスター」の順で多いことが特徴です。「ホームページ」や「SNS」よりも多く、紙媒体が依然として重要な情報源となっていることが分かります。

【問 10】 あなたは、地域活動に参加していますか。(回答は1つ)

(活動は地域の盆踊りや運動会、自治会や公民館活動、PTA活動、自治会の会議への参加など、どのようなことでも結構です。)

- | |
|----------------------|
| 1 参加している (⇒問 10-1 へ) |
| 2 参加していない |

選択肢	回答数	回答分布
1 参加している	90	54.9%
2 参加していない	72	43.9%
無回答	2	1.2%
合計	164	100.0%

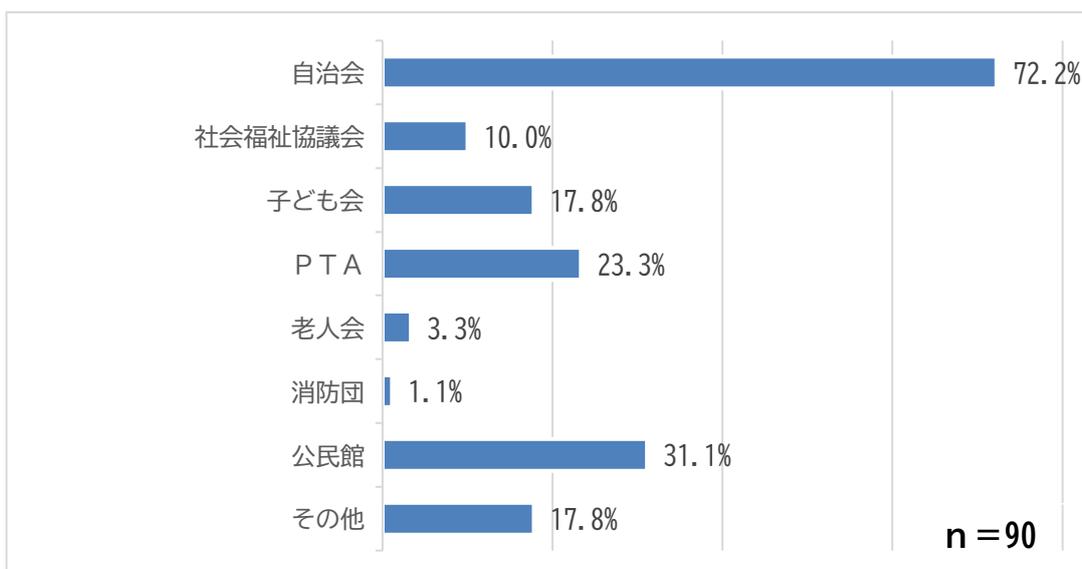


☆ 参加している人が過半数を占めているものの、約4割が参加していないことから、地域活動への関わりにはまだ広げる余地があると考えられます。

【問10-1】問10で「1 参加している」と回答された方にお伺いします。あなたが主に参加した活動はどのような活動ですか。(回答は3つまで)

1 自治会	5 老人会
2 社会福祉協議会	6 消防団
3 子ども会	7 公民館
4 PTA	8 その他（具体的に： ）

選択肢	回答数	回答分布
1 自治会	65	72.2%
2 社会福祉協議会	9	10.0%
3 子ども会	16	17.8%
4 PTA	21	23.3%
5 老人会	3	3.3%
6 消防団	1	1.1%
7 公民館	28	31.1%
8 その他	16	17.8%



その他 内訳

- ・わかな会 ・子育てサロンぬくもりの家 ・安全・安心まちづくり協議会
- ・シルバーサポート ・自治会の中の小自治会（班）内の手伝い
- ・自治会の会員有志で作った任意団体“緑の会” ・相模原を貢献するための交流会
- ・こども食堂やフードバンク活動 ・マンション内コミュニティ活動 ・宇宙教室
- ・盆踊り ・自治会の体育部会と公民館のイベント支援 ・勤務先（市外）での地域活動
- ・外国人支援 ・地域づくり活動 ・防災マイスター

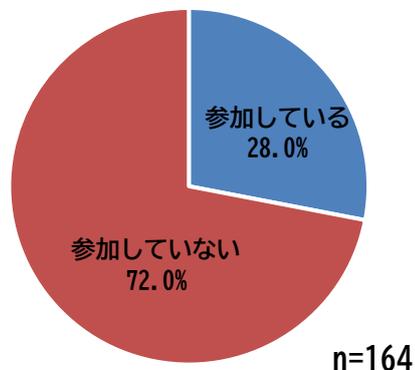
☆ 自治会への参加が最も多く、地域活動の中心的な役割を担っていることがうかがえます。一方で、老人会や消防団への参加は少なく、担い手の偏りが見られます。

【問11】あなたは、市民活動に参加していますか。(回答は1つ)

(活動はNPO団体での活動やボランティア活動など、どのようなことでも結構です。)

1 参加している (⇒問11-1へ)	2 参加していない
--------------------	-----------

選択肢	回答数	回答分布
1 参加している	46	28.0%
2 参加していない	118	72.0%
合計	164	100.0%

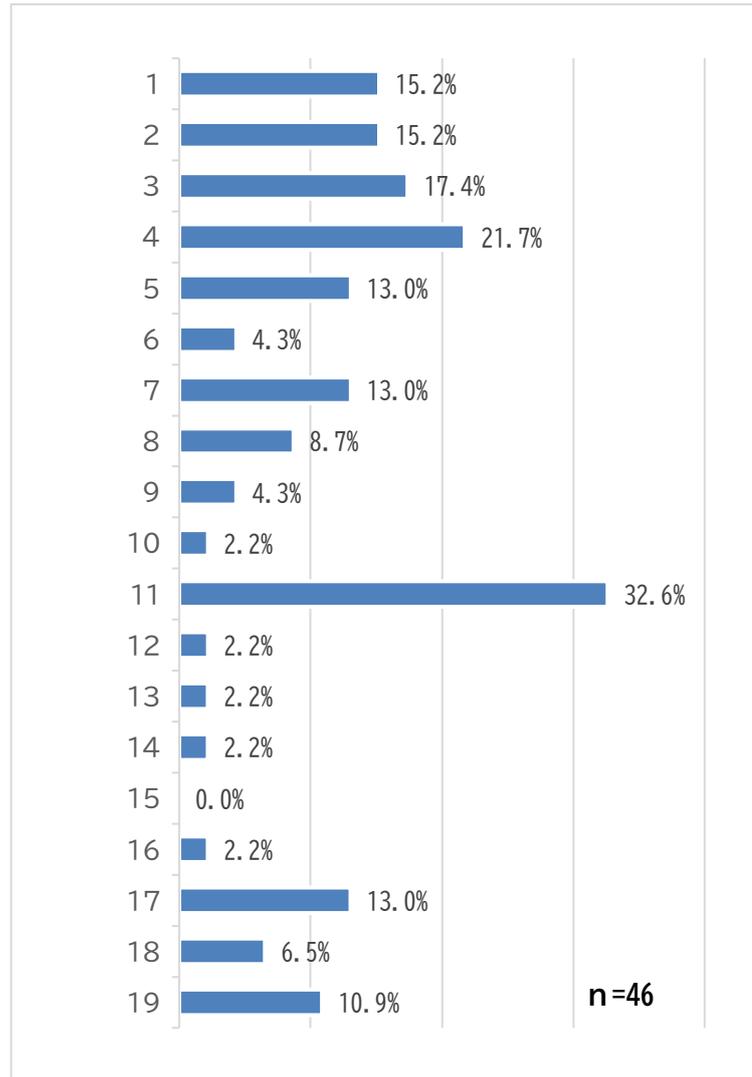


☆ 市民活動に参加している人は約3割にとどまり、多くの市民が関わっていない状況が見られます。地域活動と比べると参加割合が低く、市民活動への参加促進が課題であると考えられます。

【問11-1】問11で「1 参加している」と回答された方にお伺いします。あなたが主に参加した活動は、どのような活動ですか。(回答は3つまで)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 保健、医療または福祉の増進を図る活動 2 社会教育の推進を図る活動 3 まちづくりの推進を図る活動 4 学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動 5 環境の保全を図る活動 6 災害救援活動 7 地域安全活動 8 人権の擁護または平和の推進を図る活動 9 国際協力の活動 10 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 11 子どもの健全育成を図る活動 12 情報化社会の発展を図る活動 13 科学技術の振興を図る活動 14 経済活動の活性化を図る活動 15 職業能力の開発または雇用機会の拡充を支援する活動 16 消費者の保護を図る活動 17 食生活改善、食育の推進を図る活動 18 上記の1～17の活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言または援助の活動 19 その他(具体的に: _____) |
|--|

選択肢	回答数	回答分布
1	7	15.2%
2	7	15.2%
3	8	17.4%
4	10	21.7%
5	6	13.0%
6	2	4.3%
7	6	13.0%
8	4	8.7%
9	2	4.3%
10	1	2.2%
11	15	32.6%
12	1	2.2%
13	1	2.2%
14	1	2.2%
15	0	0.0%
16	1	2.2%
17	6	13.0%
18	3	6.5%
19	5	10.9%



その他 内訳

- ・ 傾聴活動：特養・グループホームの傾聴に参加
- ・ 南区社会福祉協議会にて、一人ぐらしの高齢者に対し、弁当の配布を実施
- ・ 地域包括支援センターの活動のお手伝い
- ・ 市政モニターアンケート
- ・ 学校へ行けない・行きづらさを感じるこどもを持つ親のコミュニティ

☆ 活動分野は多岐にわたっており、市民活動が幅広いテーマで展開されていることがうかがえます。分野ごとの参加状況を把握することで、本市として重点的に支援すべき領域の検討につながると考えられます。

《問 10 または問 11 のいずれか、もしくは両方で「1 参加している」と回答された方にお伺いします。

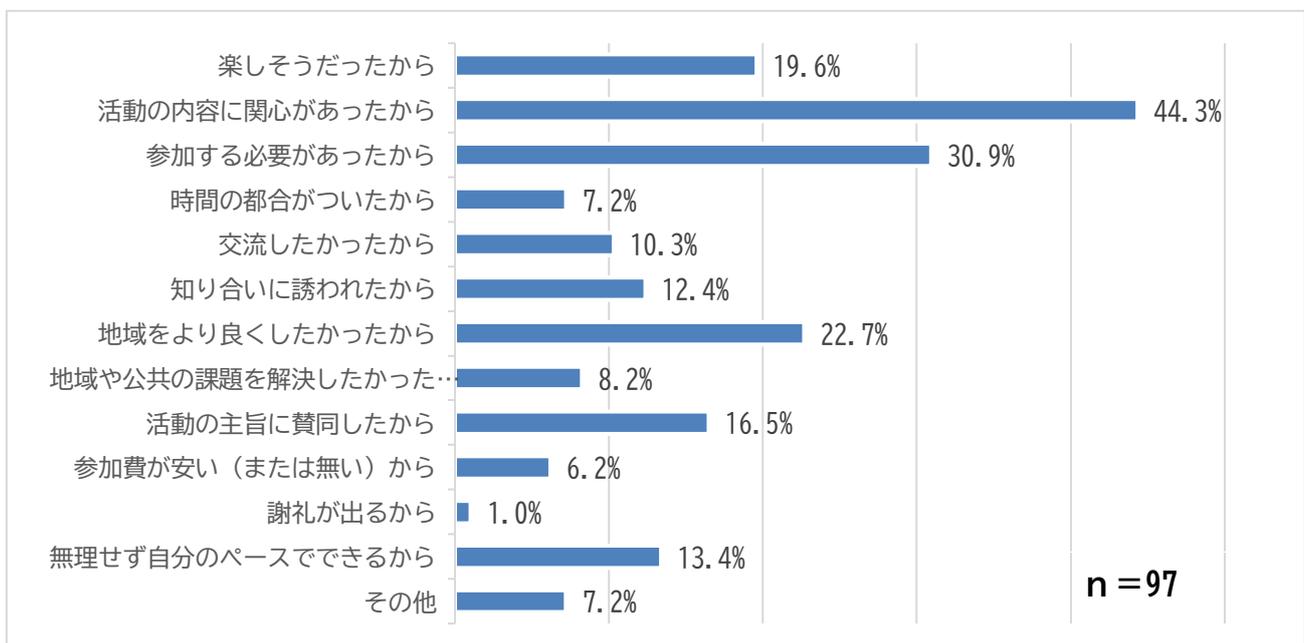
（どちらとも「2 参加していない」と回答された方は問 13 へ）》

【問 12】あなたが地域活動や市民活動に参加したのは、どのような理由からですか。

(回答は3つまで)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 楽しそうだったから | 8 地域や公共の課題を解決したかったから |
| 2 活動の内容に関心があったから | 9 活動の主旨に賛同したから |
| 3 参加する必要があるがあったから | 10 参加費が安い（または無い）から |
| 4 時間の都合がついたから | 11 謝礼が出るから |
| 5 交流したかったから | 12 無理せず自分のペースでできるから |
| 6 知り合いに誘われたから | 13 その他（具体的に：) |
| 7 地域をより良くしたかったから | |

選択肢	回答数	回答分布
1 楽しそうだったから	19	19.6%
2 活動の内容に関心があったから	43	44.3%
3 参加する必要があるがあったから	30	30.9%
4 時間の都合がついたから	7	7.2%
5 交流したかったから	10	10.3%
6 知り合いに誘われたから	12	12.4%
7 地域をより良くしたかったから	22	22.7%
8 地域や公共の課題を解決したかったから	8	8.2%
9 活動の主旨に賛同したから	16	16.5%
10 参加費が安い（または無い）から	6	6.2%
11 謝礼が出るから	1	1.0%
12 無理せず自分のペースでできるから	13	13.4%
13 その他	7	7.2%
無回答	5	5.2%



その他 内訳

- ・子供と一緒に楽しめる。
- ・役員の順番がまわって来て、仕方なく
- ・自治会活動には住んでいる以上、できるだけ参加すべきと考えるから
- ・強制だから仕方なく
- ・災害時などに地域で助け合えるよう、日ごろから交流をもつため
- ・相模原市の実態を知り、市民と市政を一体化したいから！！ 相模市議会の報告を11月のチラシで初めて見ました。毎月実態を知り提案できるものがあれば提案したい。
- ・他の候補者が全員辞退したため、消去法的に決まった

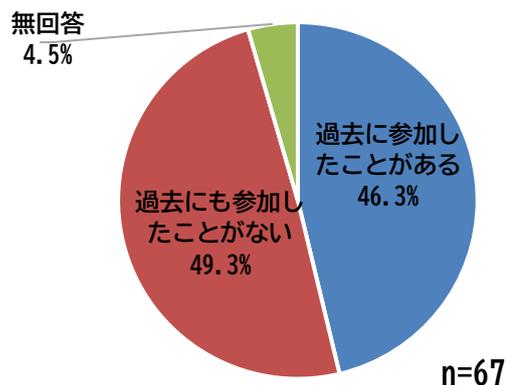
☆ 参加理由として「活動の内容に関心があったから」が最も多く、関心や意義を重視した参加が多いことが分かります。金銭的な理由は少数派で、地域改善への意識が強いことがうかがえます。

《問10および問11のどちらとも「2 参加していない」と回答された方にお伺いします》

【問13】あなたは、過去に地域活動や市民活動に参加したことがありますか。

- 1 過去に参加したことがある (⇒問13-1へ)
- 2 過去にも参加したことがない (⇒問13-2へ)

選択肢	回答数	回答分布
1 過去に参加したことがある	31	46.3%
2 過去にも参加したことがない	33	49.3%
無回答	3	4.5%
合計	67	100.0%



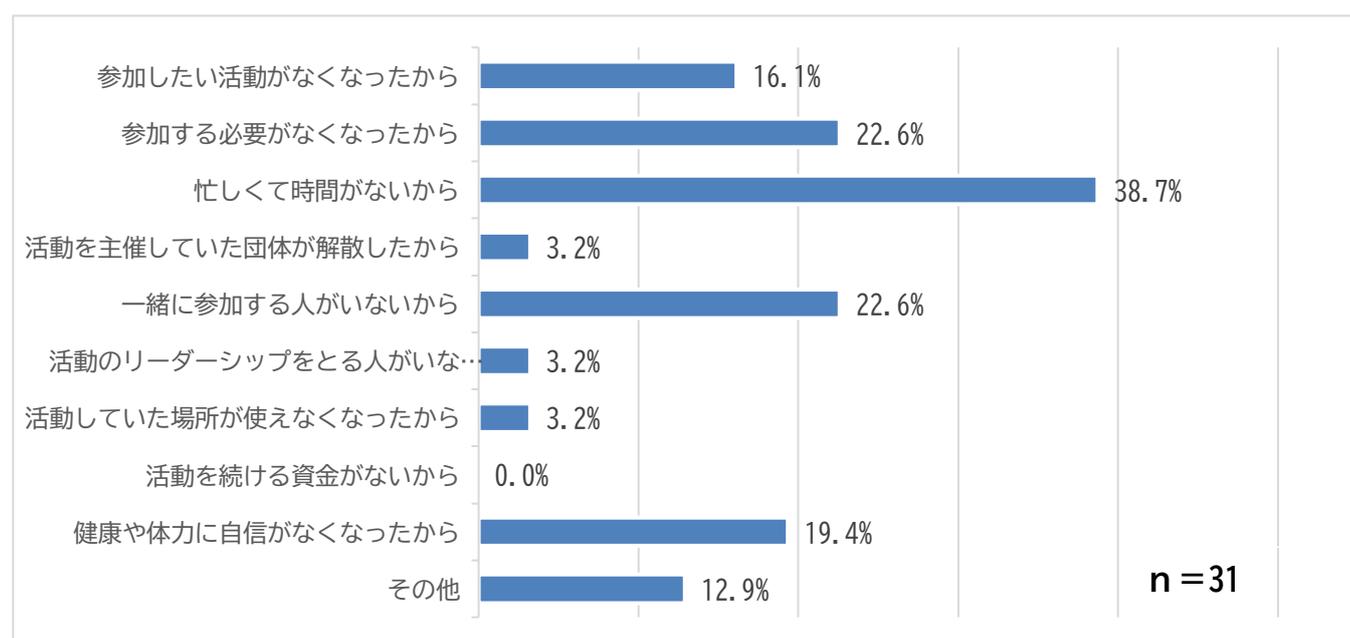
☆現在参加していない人のうち、過去に参加経験がある人が約半数を占めており、参加の可能性を持つ層が一定数存在していることがうかがえます。

問13で「1 過去に参加したことがある」と回答された方にお伺いします。

【問13-1】あなたが地域活動や市民活動に参加しなくなった理由は、どのような理由からですか。(回答は3つまで)

- | | |
|----|----------------------|
| 1 | 参加したい活動がなくなったから |
| 2 | 参加する必要がなくなったから |
| 3 | 忙しくて時間がないから |
| 4 | 活動を主催していた団体が解散したから |
| 5 | 一緒に参加する人がいないから |
| 6 | 活動のリーダーシップをとる人がいないから |
| 7 | 活動していた場所が使えなくなったから |
| 8 | 活動を続ける資金がないから |
| 9 | 健康や体力に自信がなくなったから |
| 10 | その他(具体的に:) |

選択肢	回答数	回答分布
1 参加したい活動がなくなったから	5	16.1%
2 参加する必要がなくなったから	7	22.6%
3 忙しくて時間がないから	12	38.7%
4 活動を主催していた団体が解散したから	1	3.2%
5 一緒に参加する人がいないから	7	22.6%
6 活動のリーダーシップをとる人がいないから	1	3.2%
7 活動していた場所が使えなくなったから	1	3.2%
8 活動を続ける資金がないから	0	0.0%
9 健康や体力に自信がなくなったから	6	19.4%
10 その他	4	12.9%



その他 内訳

- ・ コロナの時に活動が中止になったので
- ・ 活動に疑問を感じた。
- ・ 引っ越したので、転居先でその活動がよくわからない
- ・ 社会人になり平日参加ができなくなったため

☆ 「忙しくて時間がないから」が最も多く、継続参加には時間的制約が大きく影響していることがうかがえます。また、「参加する必要がなくなった」「一緒に参加する人がいない」といった理由も一定数あり、参加のきっかけやつながりの維持が課題であると考えられます。

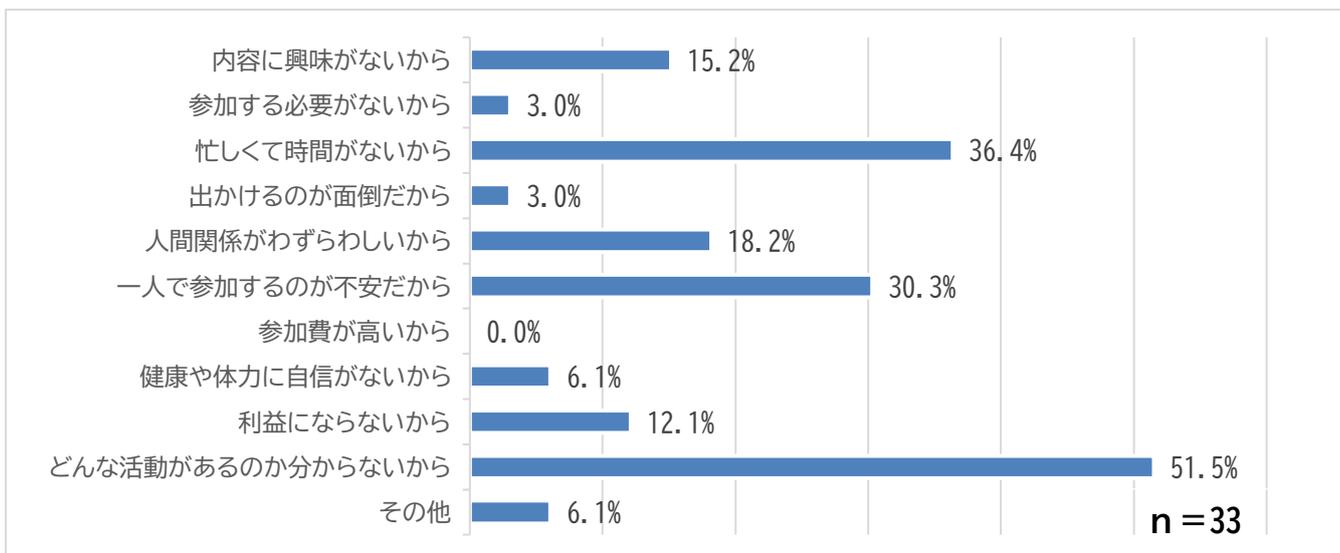
問13で「2 過去にも参加したことがない」と回答された方にお伺いします。

【問13-2】あなたが地域活動や市民活動に参加しないのは、どのような理由からですか。

(回答は3つまで)

1 内容に興味が無いから	7 参加費が高いから
2 参加する必要が無いから	8 健康や体力に自信が無いから
3 忙しくて時間がないから	9 利益にならないから
4 出かけるのが面倒だから	10 どんな活動があるのか分からないから
5 人間関係がわずらわしいから	11 その他(具体的に:)
6 一人で参加するのが不安だから	

選択肢	回答数	回答分布
1 内容に興味が無いから	5	15.2%
2 参加する必要が無いから	1	3.0%
3 忙しくて時間がないから	12	36.4%
4 出かけるのが面倒だから	1	3.0%
5 人間関係がわずらわしいから	6	18.2%
6 一人で参加するのが不安だから	10	30.3%
7 参加費が高いから	0	0.0%
8 健康や体力に自信が無いから	2	6.1%
9 利益にならないから	4	12.1%
10 どんな活動があるのか分からないから	17	51.5%
11 その他	2	6.1%



その他 内訳

- ・そういったことをあるの教えてくれる人が近所にいない。賃貸集合住宅なので会費を払っているのか、参加してもいいのかが分からない
- ・子育てで忙しく参加したいが時間がない

☆ 「どんな活動があるのか分からないから」が最も多く、情報不足が参加を妨げていることがうかがえます。また、「忙しくて時間がない」「一人で参加するのが不安」といった理由も多く、情報発信の充実とともに、参加しやすい仕組みづくりが求められます。

【市民協働について】

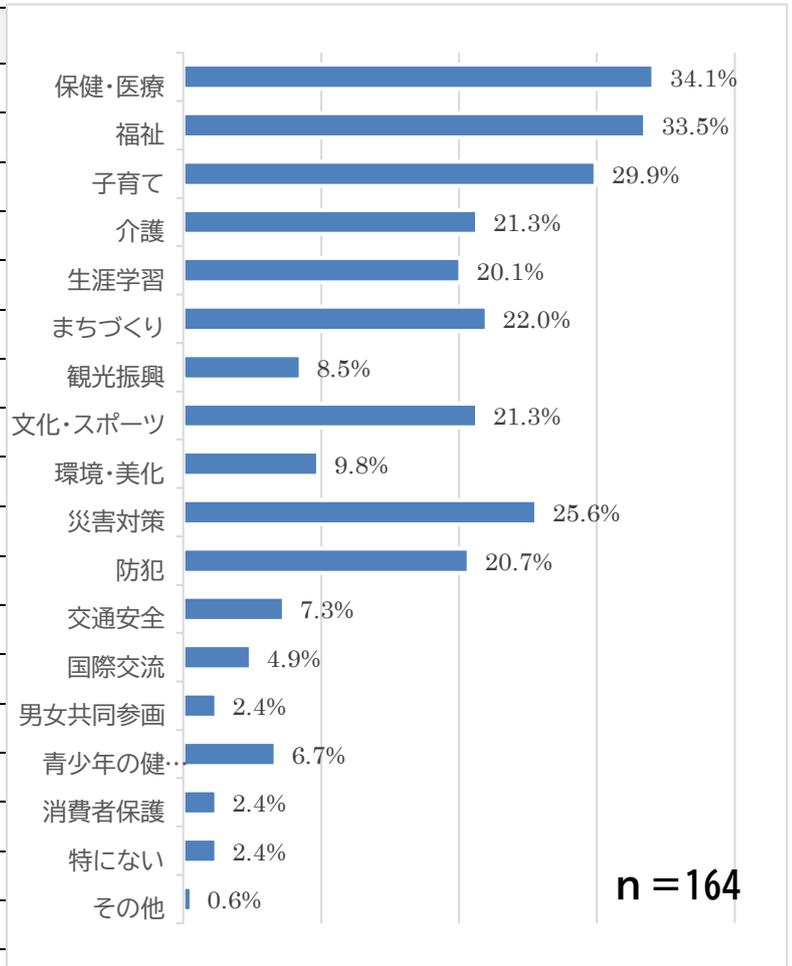
協働とは…多様な主体が目的を共有してそれぞれの役割と責任の下で、互いの立場を尊重し、協力して公共の利益を実現するために活動することをいいます。

【問 14】市民協働のまちづくりについてお伺いします。

最近の社会情勢を踏まえ、あなたが地域や公共の課題の中で、関心のあるものはどんなことですか。(回答は3つまで)

1 保健・医療	8 文化・スポーツ	15 青少年の健全育成
2 福祉	9 環境・美化	16 消費者保護
3 子育て	10 災害対策	17 特にない
4 介護	11 防犯	18 その他
5 生涯学習	12 交通安全	(具体的に：)
6 まちづくり	13 国際交流	
7 観光振興	14 男女共同参画	

選択肢	回答数	回答分布
1 保健・医療	56	34.1%
2 福祉	55	33.5%
3 子育て	49	29.9%
4 介護	35	21.3%
5 生涯学習	33	20.1%
6 まちづくり	36	22.0%
7 観光振興	14	8.5%
8 文化・スポーツ	35	21.3%
9 環境・美化	16	9.8%
10 災害対策	42	25.6%
11 防犯	34	20.7%
12 交通安全	12	7.3%
13 国際交流	8	4.9%
14 男女共同参画	4	2.4%
15 青少年の健全育成	11	6.7%
16 消費者保護	4	2.4%
17 特にない	4	2.4%
18 その他	1	0.6%



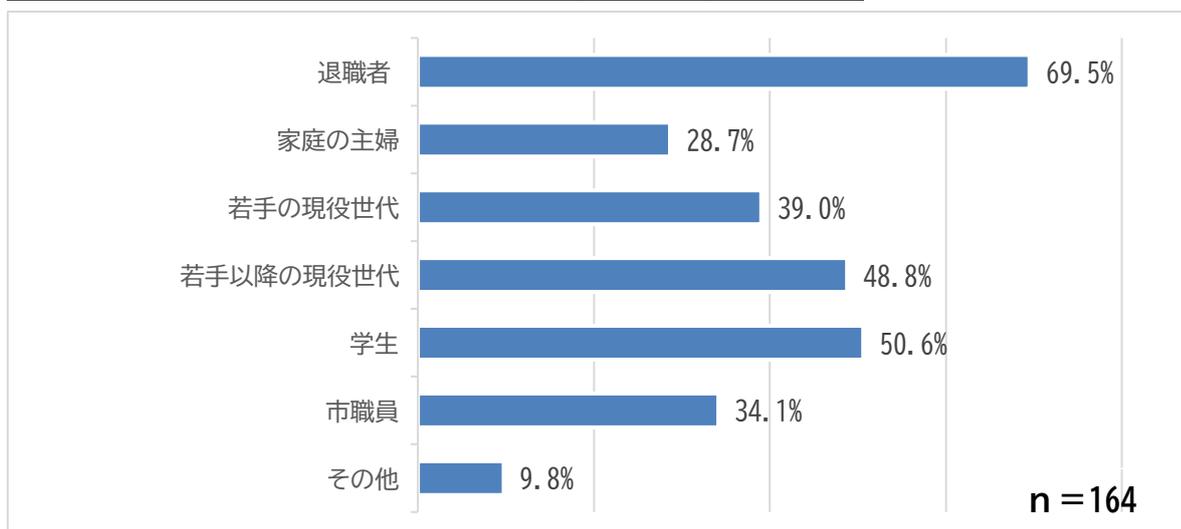
その他 内訳
・交通

☆ 「保健・医療」「福祉」「子育て」など、生活に直結する分野への関心が高い傾向が見られます。また、「災害対策」や「防犯」も一定の割合を占めており、安全・安心に関する課題への関心の高さがうかがえます。

【問 15】あなたは、地域活動や市民活動の担い手について、どのような層から確保することが望ましいと思いますか。（回答はいくつでも）

1 退職者	5 学生
2 家庭の主婦	6 市職員
3 若手の現役世代（概ね 40 歳まで）	7 その他（具体的に： ）
4 若手以降の現役世代（概ね 40～60 歳代）	

選択肢	回答数	回答分布
1 退職者	114	69.5%
2 家庭の主婦	47	28.7%
3 若手の現役世代（概ね 40 歳まで）	64	39.0%
4 若手以降の現役世代	80	48.8%
5 学生	83	50.6%
6 市職員	56	34.1%
7 その他	16	9.8%



その他 内訳

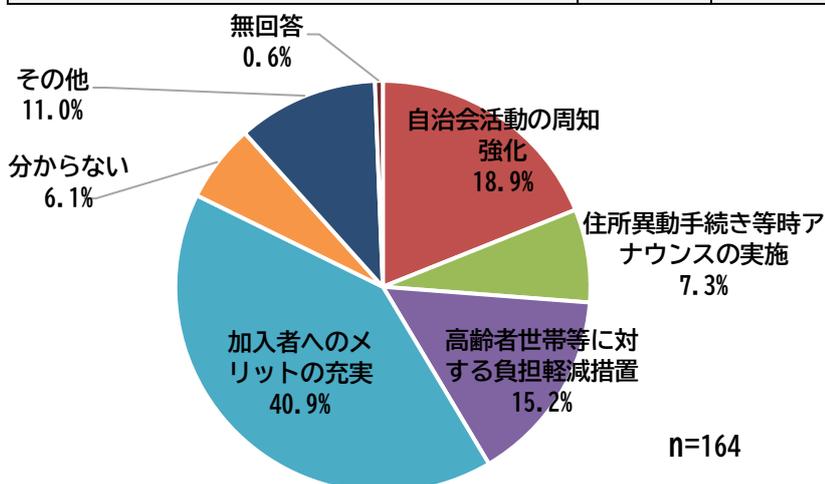
- ・ 父親 ・ 誰でも ・ 民間の専門機関 ・ 地元の会社、工場、お店の方々
- ・ 層はまったく関係はなくやる気のある人だと思います（差別になってしまいますね）
- ・ どの世代もまんべんなく本当は参加してほしいです
- ・ 特定の層を定めず他県からも可能にする ・ 障害のある方も高齢の方も
- ・ 各年代、各職種から、幅広い層で構成した方が良いと思います
- ・ その活動に対して適性があれば 1～6 の誰でも
- ・ 今の時代、ボランティアになると維持が難しいかと思うので、予算を組んで必要な人数の人材を確保するのがいいのではないかと思います
- ・ その様な活動の経験者 ・ やる気のある人の年齢や立場は問わない
- ・ 担い手を無理に探す必要はないのではないかと。小さな規模の活動を維持できないのであれば大きい規模に改変して維持するしかないのでは
- ・ 目的に応じて適切な人を募集すればよいと思う。どの層からという問いへの回答は難しい。いろんな層が入っているのが地域活動としては本来は望ましいのではないかと思う。

【問 17】本市の自治会加入率は、令和7年4月1日現在で「43.5%」（相模原市自治会連合会調べ）

となっていますが、今後加入世帯数を増やしていくには、どのような対策が必要と思いますか。
（回答は1つ）

- | | |
|---|---|
| 1 | 防災・防犯・環境美化・福祉等、自治会活動について、情報誌やチラシ等での周知強化 |
| 2 | 自治会加入促進について、住所異動手続きや不動産契約の際のアナウンスの実施 |
| 3 | 高齢者世帯等に対する、自治会費減額や役員免除などの体制の確立 |
| 4 | 自治会加入者へのメリットの充実（施設利用優待やポイント制度など） |
| 5 | 分からない |
| 6 | その他（具体的に： _____） |

選択肢	回答数	回答分布
1 自治会活動の周知強化	31	18.9%
2 住所異動手続き等時アナウンスの実施	12	7.3%
3 高齢者世帯等に対する負担軽減措置	25	15.2%
4 加入者へのメリットの充実	67	40.9%
5 分からない	10	6.1%
6 その他	18	11.0%
無回答	1	0.6%
合計	164	100.0%



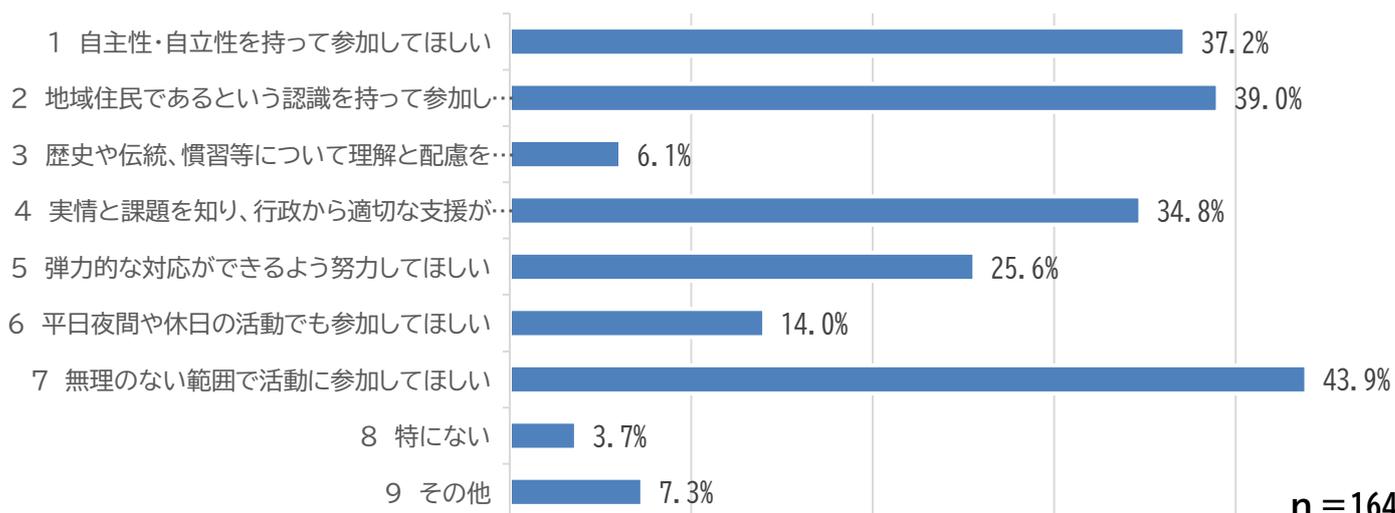
☆ 「加入者へのメリットの充実」が最も多く、自治会活動の意義の周知だけでなく、具体的な利点を示すことが加入促進につながると考えられています。制度的な工夫による魅力向上が求められていることがうかがえます。

- その他 内訳
- ・加入者へのメリット。施設利用優待やポイント制度などではなく、もっと行政的なメリットがほしい。
 - ・【加入するメリット】だけではなく、【加入するデメリット】に目を向けるべき。
自治会加入率とデメリットは比例している。負担が大きい。
 - ・土日は休みたい、平日参加不可、子育てに手が足りず、地域貢献とは真逆な世界で手助けが欲しい側
 - ・条例で自治会費を無料にし、強制加入にする。

【問 18】あなたは、市職員が地域活動や市民活動へ参加することについて、どのようなことを望んでいますか。(回答は3つまで)

- | | |
|---|--|
| 1 | 義務的な態度で参加するのではなく、自主性・自立性を持って参加してほしい |
| 2 | 市職員である前に地域住民であるという認識を持って参加してほしい |
| 3 | 当該活動団体の歴史や伝統、慣習等について理解と配慮を示してほしい |
| 4 | 当該活動団体の実情と課題を知り、行政の方から適切な支援を行うよう、働き掛けてほしい |
| 5 | 現行制度の枠内の杓子定規な対応ではなく、弾力的な対応ができるよう努力してほしい |
| 6 | 団体の活動が、平日の夜間や休日に及ぶことがあるのを理解し、平日夜間や休日の活動でもしっかり参加してほしい |
| 7 | 無理のない範囲でよいから、活動に参加してほしい |
| 8 | 特にない |
| 9 | その他(具体的に:) |

選択肢	回答数	回答分布
1 自主性・自立性を持って参加してほしい	61	37.2%
2 地域住民であるという認識を持って参加してほしい	64	39.0%
3 歴史や伝統、慣習等について理解と配慮を示してほしい	10	6.1%
4 実情と課題を知り、行政から適切な支援がほしい	57	34.8%
5 弾力的な対応ができるよう努力してほしい	42	25.6%
6 平日夜間や休日の活動でも参加してほしい	23	14.0%
7 無理のない範囲で活動に参加してほしい	72	43.9%
8 特にない	6	3.7%
9 その他	12	7.3%



その他 内訳

- ・無理に参加しなくてよい
- ・先頭に立って引っぱってほしい
- ・いろいろ事情をかかえている人もいると思うので無暗に参加しても、市職員（しごと）と誤ってしまふのは当たり前だと思います。
- ・ただ単に「安定しているから」という理由で公務員を志願せず「その地域で働くことはどういうことか」、「地域にはどんな問題があるか」知った上で任務を遂行なさせて下さい。
人間対人間としての温かい対応を願います。
- ・消防団に市職員がおらずJ A職員にやらせている
- ・ただでさえ大変なのだから一般人と同様、変に担わなくてよいしわがままを言ってもよい
- ・地域の活動に関する担当の職員を配置し、市職員さんの善意で成り立つような形にならないようにしてほしい。
- ・市の職員の役割は、参加ではなく地域の実情を的確に把握して、それを市政に反映させることで、そのための「参加」だと思う。
- ・縦割りでなく、地域活動がスムーズにいくよう連携、コーディネートして欲しい
- ・市職員は市民の声を聴いて市民と共生する相模原市を構築して貰いたい。
- ・目線を市民と同じにしていくこと
- ・これは、市職員が仕事として関わるのか、ボランティアとして関わるのか（部活の顧問のように）で変わってくると思うし、活動の内容によっても寄与度合いが変わると思う。
要所で働きかけや解決方法を共有してくれるなどの動き方でいいのではないか。
四六時中一緒にいる必要はないと思う。

☆ 「無理のない範囲で活動に参加してほしい」が最も多く、市職員には過度な負担ではなく、地域住民として主体的に関わる姿勢が求められていることがうかがえます。あわせて、実情を理解した上での適切な支援も期待されているといえます。

【問 19】 市民協働のまちづくりについて、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

(多数いただいたご意見から抜粋して掲載しています。)

《市民協働の進め方／意見が反映される仕組み》

- ・皆で協力（知恵、行動他）して、住み良い、街づくりをして行きましょう。
- ・子どもから高齢者までが明るく楽しく元気に笑って暮らせる為に何が必要かを…まんべんなく意見が反映されるまちづくりを目指して頂きたい。
- ・まずは意見を聞き、しっかり対応できる仕組み作りから始まるのでは…と思っています。

《自治会への負担感／見直し》

- ・自治会内での問題(街頭の電球交換や、ゴミ箱の網の補助、防災時の声掛け)などの処理について沢山のメリットもある。
- ・以前は自治会に加入していましたが、回覧板がまわってくるぐらいであまりメリットがなく又順番で役員になる事も負担に感じやめました。
- ・役員の負担が大きい。役員になりたがらない。→役員にやさしくしてほしい。
- ・[問 17] の自治会の加入率が 43.5%にはおどろきました。自治会そのものの見直しが必要だと思います。

《参加者減少／担い手》

- ・この数年で、子ども会も自治会もどんどん人数が減ってきています。参加を呼びかけても、ほとんど無反応です。
- ・今後は集団での活動ではなく、個人をどうひろいあげていくかが大事になってくると思います。
- ・継続的な活動が出来る仕組みづくりが必要ではないかと思います。リーダーに負担がいかないようにするなど。

《情報発信／参加の入口》

- ・このことに限らず、わりと知られていないことが多い。
- ・ボランティア活動を探しているが見つからない。ボランティア活動について参加できる情報が欲しい。
- ・自分の地域でどのような活動をしているか、知らしめる方法を工夫してほしい。知らない為に無感心になるのでは。

《子ども・若者／教育》

- ・チラシを配るだけでは、ほとんど意味がありません。『教育』が必要だと思います。
- ・例えば小学校や中学校で、地域の役割を学んだり…将来の地域の担い手を育成するのです。
- ・夜遅く子どもたちが、集まらないようお願いしたいです。

今回のアンケート結果では、地域活動や市民活動への関心や参加状況、自治会加入促進について、貴重なご意見をいただくことができました。また、担い手の確保や市職員に期待される役割についても、さまざまなご意見を伺いました。

今後は、この結果を活用して計画改定や参加しやすい仕組みづくりを進め、市民協働のまちづくりをさらに推進していきます。

このアンケートに関するお問い合わせは、こちらへお願いいたします。

相模原市 市民局 市民協働推進課

電話 042-769-9225 (直通)

〒252-5277 相模原市中央区中央 2-11-15